昭島市携帯メール情報サービス

災害・不審者・行方不明者情報などをメールでお知らせ

市内で発生した災害や不審者・行方不明者の情報などを、携帯電話やパソコンに電子メールで「重要なお知らせ」として配信するサービスです。

メール配信情報

項　目	メール配信時間帯
●火災発生情報(建物火災)　●緊急災害情報(大地震・洪水・避難情報など) ●行方不明者情報	24時間
●不審者情報	午前８時30分～午後５時15分 (土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
●光化学スモッグ情報	午前８時30分～午後５時15分
●大きなイベントの中止情報　●その他重要なお知らせ	指定時間

登録方法

下記の『昭島市携帯メール情報サービス』にアクセスして「利用規約」等を確認のうえ、「登録方法」に従い登録手続きをしてください。

『昭島市携帯メール情報サービス』登録サイト

URL http://hp.m-mate.com/k/akishima/

2次元バーコード

登録ができない方は、次の点を確認してください。
＊【 m-mate.com 】のドメインの許可
＊【 URL付きメールの拒否 】の解除
＊【 署名 】の解除

詳しくは、昭島市総務部防災課へ
電話 042-544-5111

電話応答サービス

現在、災害等の情報伝達方法の一つとして防災行政無線を利用していますが、周囲の状況によって、聞き取りづらいことがありました。その補完の手段として、専用ダイヤルに電話をかけることで、防災行政無線で放送した内容を確認できる、自動応答装置の運用を開始しました。

[専用ダイヤル番号]　0800-800-1875(フリーダイヤル)
[放送内容の保存期間]
防災行政無線放送後、１日で放送内容が消去されます
[確認できる内容]
防災行政無線で放送した内容
(ただし、平常時に放送される定時チャイム放送は除きます。)

家族との安否連絡

家族との安否連絡方法です。予め連絡をとる方法と落ち合う場所を決めておきましょう。

災害用伝言ダイヤル

伝言の録音　伝言の再生

171 へ電話をかけます。
ガイダンスが流れます。

1 → 市外局番＋自宅電話番号
2 → 市外局番＋被災地の方の電話番号

※固定電話の番号をキーとして伝言を録音したり相手の伝言を再生することができるサービスです。登録できる番号は固定電話（自宅番号）のみです。

インターネットによる情報登録検索

インターネット上に安否情報を登録することができ、閲覧できるサービスや掲示板に情報を掲載するサービスもあります。　例：災害用ブロードバンド伝言板（web171）

災害伝言板の利用

携帯電話各社は、大規模災害時の皆さんの安否を伝える災害用伝言板サービスを提供しています。各社の登録情報は相互に閲覧することができます。

●伝言の登録…メニューから「災害用伝言板」を選び「登録」に伝言を登録
●伝言の確認…メニューから「災害用伝言板」を選び「確認」に伝言を確認
携帯他社へのアクセスは右の通り

災害用伝言板

NTT docomo
http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi
au by KDDI
http://dengon.ezweb.ne.jp/
SoftBank
http://dengon.softbank.ne.jp/J
EMOBILE
http://dengon.emnet.ne.jp/

非常持出品の準備

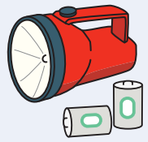
いざというときにすぐに持ち出せるように、日頃から準備・点検しておきましょう

一次持出品（例）

一次持出品は、地震が発生して避難するとき、まず最初に持ち出すべきものです。

携帯ラジオ
予備電池は多めに用意。

懐中電灯
できれば１人に１つ。
予備電池も忘れずに。



非常食
カンパン、缶詰など火を通さないでも食べられるもの。ミネラルウォーター。缶きり、栓抜き、紙皿、紙コップ、水筒など。

救急医薬品
絆創膏、傷薬、包帯、風邪薬、胃腸薬、鎮痛剤など。

貴重品
現金（10円硬貨があると公衆電話の利用に便利）、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証書など。

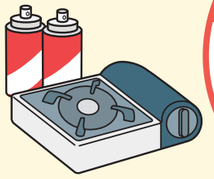
その他
下着、上着などの衣類、タオル、生理用品、粉ミルク、紙おむつ、ウェットティッシュ、合羽、ヘルメット、ライター、ラップフィルム（止血や汚れた食器にかぶせて使う）など。

非常持出品は定期的に点検を！
いざというときに支障のないように、食品類の賞味期限や持出用品の不備を定期点検しましょう。

二次持出品（例）

二次持出品は、災害復旧までの数日間（最低３日分）を生活できるように準備しておくものです。

燃料
卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料。



食糧
米（缶詰やレトルト、アルファ米も便利）、缶詰やレトルトのおかず、ドライフーズ、チョコレート・アメなどの菓子類、梅干し、調味料など。割り箸や皿など調理や食事に使う用品も必要です。

飲料水
飲料水は１人１日３リットルを目安に。ペットボトルや缶入りのミネラルウォーター。また、防災タンクにためておく。

その他
生活用水（風呂や洗濯機に備蓄。幼児に注意して）、毛布、寝袋、洗面用具、ドライシャンプー、なべ、やかん、防災タンク（ポリタンク）、バケツ、各種アウトドア用品など。

個人や家庭に応じて準備するもの

赤ちゃん用品
粉ミルク、哺乳瓶、離乳食、スプーン、洗浄綿及び新生児用品、ティッシュ、背負いひも、バスタオル、紙おむつ、母子手帳、ベビーカーなど

女性用品
生理用品、防犯用ホイッスル付きライト、鏡、ブラシ、化粧品など

要介護者用品
おむつ、着替え、ティッシュ、障がい者手帳、補助具などの予備、看護用品、持病薬、処方せんのコピーなど